

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺
 慈雲会
 〒604-8214
 京都市中京区新町通蛸薬師下る
 百足屋町375番地
 TEL/FAX (075)221-4616
 zuirenji@nifty.com
 http://www.zuirenji.net/
 SinsyuuOotaniha
 JiunzanZuirenji
 Jiunkai



慈雲

臣聞毘陀論經說

劫初已來有諸

惡王貪國位故

殺害其父一萬八千

【『觀經』の言葉】

「臣聞毘陀論經說、劫初已來、有諸惡王、貪國位故、殺害其父、一萬八千。」

臣聞く、『毘陀論經』に説か、劫初よりこのかた、もろもろの惡王ありて國位を貪るがゆえに、その父を殺害せること一萬八千なり。

阿闍世王が自分の母であり先王の後である韋提希を殺そうとしているのに対し、大臣の月光は、古今の歴史や歴代王の記録書を持ち出してきて諫めているところだ。

「歴史が始まって以來、國王の位を貪るために父王を殺した惡王は一萬八千にのぼります。」大臣の月光は自分の意見ではなく記録書に載っている事実を王に伝えて諫言しているのです。

今回は

普放無量無辺光 無碍無对光炎王
 清浄歓喜智慧光 不断難思無称光
 超日月光照塵刹 一切群生蒙光照

を学びたいと思います。

あまねく無量・無辺光、無碍・無对・
 光炎王、清浄・歓喜・智慧光、不断・難
 思・無称光、超日月光を放ちて塵刹を照
 らす。一切の群生、光照を蒙る。

と読みます。

法蔵菩薩があらゆる衆生を救いたいとい
 う願を建てられてその願と行が成就し
 て阿弥陀仏となられました。そしてその
 御身より光を出して私たちの国の隅々ま
 で照らしてくださいとさるところです。
 その光は十二種類あり、それぞれに名前
 がつけられています。

阿弥陀さまのお光はひとつのはずなの
 に十二もの種類があるのはどういいうわけ
 なのでしょう。

それは、私たち衆生の方に理由がある
 ようです。

たとえば、無辺光というのは仏さまの
 光はどこまでも限りなく照らして際がな
 いということ。また、不断光とは、
 私たち衆生を照らすことが絶え間ないと
 いうことです。私たちの考え方には常と
 いうことは徹底しません。しかし、仏さ
 まの光は常に一瞬も休むことなく、今こ
 の瞬間もお照らしになっています。かつ
 ある先輩が仏さまの光はイツデモ（不
 断光）ドコデモ（無辺光）照らしてくだ
 さるのだといわれたことを思い出します。
 つまり私たちにわかり易いようにいろ
 いろな働きを取り上げてそれぞれその特
 徴を光の名前としておられるのです。

もう少し見てみますと、その光は清浄
 であり（清浄光）、その光に遇うものは歓
 喜にあふれ（歓喜光）、智慧を得ることが
 できます（智慧光）。この清浄・歓喜・智
 慧の三つの光はそれぞれ私たちの三毒の
 煩惱である貪欲・瞋恚・愚痴に対応して
 います。清浄光に遇ったものは我が身の
 貪欲（むさぼりの心）を知ることができ、
 歓喜光に遇ったものは我が身の瞋恚（い
 かりの心）を知る事ができます。

むさぼりといかり、このふたつは特に
 煩惱ということも意識しないで常日ごろ
 繰り返しています。しかし、それをいか

り、むさぼりと自覚することが出来たら
 身も心も柔軟になって喜びあふれると経
 典にかかれています。

この夏の地藏盆のことです。瑞蓮寺は
 毎年七町内の地藏盆にお参りいたしま
 すが、毎回読経のあとで子供たちに向け
 て簡単なお話しをしています。今年
 は「手を合わす」というテーマでお話し
 しました。お地藏さまや大日如来さまに向
 って手を合わすことの大切さを話して
 いましたが、うちの町内（百足屋町）で
 もその話しをしようかとふと前を見たら
 善財童子が合掌している姿が目に入り
 ました。百足屋町はお地藏さまではなく、
 南観音山のご神体である揚柳観音の脇
 侍の善財童子の前でお参りするのです
 が、自分が仏さまやお地藏さまに向って
 手を合わすことを話していた私はその
 時ハツとしました。私より先に仏さまの
 方から私に向って手を合わせてくださ
 っていたのかと。もちろん童子は横の観
 音さまに向って合掌されているのです
 が、私にとっては驚きでありました。と
 同時に、また私の考えを越えた大きなも
 のに出会わせてもらった気がしました。
 これは十二光のうち難思光のはたらき
 （私の思いの及ばない世界）であります。

【お彼岸のお知らせ】

九月二十二日（日）

秋の彼岸会法要を勤修します

午後一時より納骨堂を開きます

二時 お勤め

三時 法話

中津 功 先生

四時 お斎

※本年は法話ご講師のご都合で御中日ではありませんので、お気を付け下さい。本年度の瑞蓮寺カレンダーには九月二十三日（月・祝）となっておりますが、訂正致します。

【中津功先生ご紹介】

かねてより幾度かお話を聞かせていただいております。温かいお話をさせていただきます。一度当寺にもご法話に来ていただきたいと思っております。ぜひお参りしてお聞きください。 住職談

（プロフィール）

二元親鸞仏教センター嘱託研究員

【お磨きのお知らせ】

秋の彼岸会に先立ち、仏具のお磨きをします。皆様ふるって御参加下さい。

九月十八日（水）午前九時より

【報恩講のお知らせ】

十一月十日（日）

報恩講を勤修します

引き続き帰敬式を執行します

報恩講に引き続き、今年も帰敬式（おみそり）をとりこおないます。

つきましては、受式をご希望の方は瑞蓮寺又は慈雲会に九月三十日までにお申し込み下さい。

【同朋の会のお知らせ】

このたび瑞蓮寺にて同朋の会が立ち上がりました。

9人の推進員の方々を中心に、これから様々な事を一緒に学んでいきたいと思えます。

まず、この1年間は「再建の軌跡」と称して私たちのご本山である東本願寺の御影堂並びに阿弥陀堂の再建にまつわるいろいろなお話を聞かせていただきます。

例、巨木運搬のご苦労（尾神獄の殉難死事件）、毛綱等々。全十二回

講師 大谷大学准教授 平野寿則先生

大谷大学講師 川端泰幸先生

開催予定

第一回 平成二十五年八月二十四日

第二回 九月 十四日

第三回 十月 五日

第四回 十一月 二日

第五回 十二月 七日

第六回 平成二十六年一月 十一日

第七回 二月 一日

第八回 三月 一日

第九回 四月 五日

第十回 五月 十日

第十一回 六月 七日

第十二回 七月 五日

いずれも土曜日午後七時～九時に瑞蓮寺本堂で行われます。

第十二回は東本願寺の見学が予定されておあり、時間は後日決定致します。

【聞法研修会のお知らせ】

山城第一組門徒会主催の聞法研修会が瑞蓮寺で行われます。

全六回の講座の第二回目で、『宗祖親鸞聖人に聞く 坂東編』と題して大谷大学准教授 東館紹見師をお招きして行います。

聞法研修会は山城第一組の寺院をお借りして行われており、今回は瑞蓮寺で行う事となりました。

これを機会に多数お越し下さい。

九月二十九日(日)

午後一時 受付

午後一時半 開始

※費用は無料です。

【易行風】

先日、『同朋の会』の第一回目が開催され、大谷大学講師 川端泰幸先生が東本願寺設立について講義されました。

教如上人は、一度は本願寺（現西本願寺）のご門主とされますが、政治的策略により引退させられます。しかしながら、その後も民衆の教化に努められ、徳川家康の援助により東本願寺を設立された事を学びました。

東本願寺設立までには幾多のご苦勞をされ、時には戦国の世において命の危険すら経験されました。

もともと歴史には興味が有りましたので、東本願寺設立の歴史については大変興味深く聴講いたしました。

そこで、ふと思ったのですが、多大なご苦勞、命の危険にあってまで、教化すると言うのはどういった事なのか。

そういえば親鸞聖人も同じような目に遭われたのに教化を続けられた。その他の御歴代も同じようにご苦勞されながら教化を行われてきた。

「教化」とは？

これからは、単に経典、歴史や事実を学ぶだけでなく、教化とは。と云う事を考えながら学んで行けたらと思いました。

釋風航

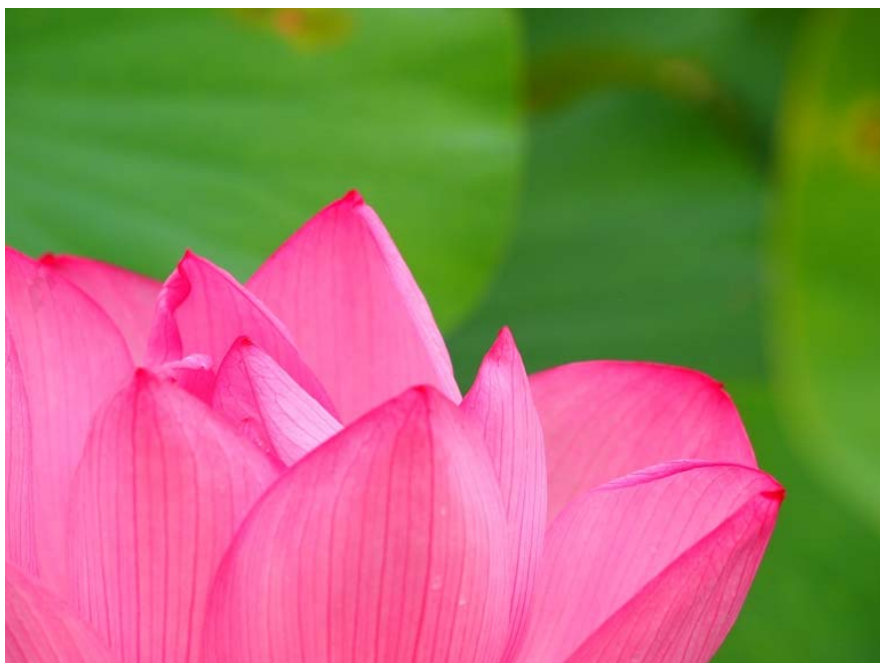
【編集後記】

暑い（熱いと言ってもいいような）夏が過ぎ、少し過ぎし安くなりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

綺麗な「蓮」のお写真を頂きましたので、皆様に見て頂きたく掲載いたします。

この写真は、今年の七月末に「法金剛院」で、瑞蓮寺のご門徒K様が撮影されたものです。

長塩浩史



瑞蓮寺のホームページができました。
<http://www.zuirenji.net/>